

【質疑回答書】地域子育て環境充実度を「見える化」するための ツール開発業務委託

番号	質 問 内 容	回 答
1	<p>業務委託仕様書5(3)に、「モデル市町村(対象市町村は京都府が選定)において、ツールを活用した実地検証を行う」とあるが、モデル市町村はどのような考え方で選定するのか。</p>	<p>京都府では、本業務とは別事業として、「子育てにやさしいまちづくり事業」を実施しており、同事業に採択された市町村には、「見える化」ツールの開発にご協力いただくことになっています。</p> <p>そのため、当該市町村の中から、モデル市町村を選定する予定です。</p>
2	<p>企画提案書作成要領1(2)に、「企画提案書の様式は自由」とあるが、企画提案書とは別で企画の要点をまとめたパワーポイントの資料を作成し、それをもとにプレゼンテーションしたいと考えているが、問題はないか。</p>	<p>募集要領8(2)に記載しているとおり、プレゼンテーションは企画提案書のみで行ってください。</p>
3	<p>業務委託仕様書5(2)に、「評価要素・評価分野と合計特殊出生率との因果関係の検証」とある。検証のためには、国が行う統計等のデータが必要ではないかと考えているが、必要なデータはすでに入手されているか。</p>	<p>評価要素・評価分野と合計特殊出生率との因果関係の検証にあたっては、合計特殊出生率を構成する有配偶率及び有配偶出生率を、市町村別、年齢階層別に、一定の年数分収集する必要があると考えています。</p> <p>収集にあたっては、市町村ごとの嫡出出生数が公表されていないため、厚生労働省から人口動態調査の個票データの提供を受けられるよう、手続きを進めているところです。</p> <p>検証を行う過程で、それ以外にも国からデータ提供を受ける必要が生じた場合には、その都度検討したいと考えています。</p>
4	<p>業務委託仕様書5(5)③に、「市町村及び京都府の各広域振興局との間で意見交換を行いながら進めること」とあるが、市町村及び各広域振興局と意見交換ができる機会について、現時点で設けられる予定があるか。</p>	<p>時期等の詳細は未定ですが、広域振興局、市町村、企業、関係団体等が参加し、子育てにやさしいまちづくり等について議論する「地域サミット」を広域振興局単位で開催していく予定です。可能であれば、この場を活用して「見える化」ツールに関する議論を深めたいと考えています。</p> <p>なお、地域サミットに限らず、市町村や広域振興局と議論いただく場合には、必要に応じてオンライン会議を活用できるようにしたいと考えています。</p>